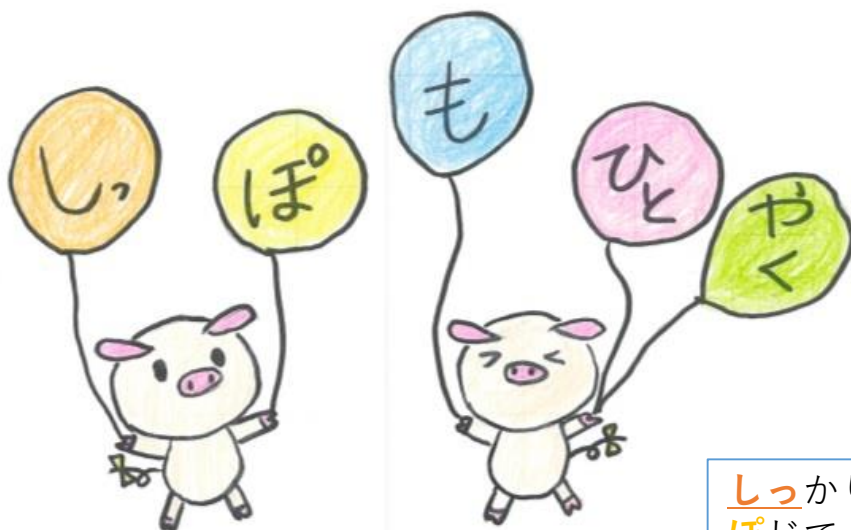


キャリア教育の要としての 特別活動の充実

～雲南市立三刀屋小学校の実践から～

育てたい子ども像の明確化 児童の実態把握＋特別活動の充実

しまねの特別活動リーフレット Vol.3では、雲南市立三刀屋小学校の取組を中心に、児童の実態把握を基にした特別活動、キャリア教育の充実に関する事例を紹介します。



上記イラスト・・・雲南市立三刀屋小学校作成

しっかり あいさつ へんじ
ぽじていぶ あびいる
もっともっと かんがえる
ひとにやさしく
やくにたつ

丁寧な実態把握に基づいて

三刀屋小学校では、丁寧な児童の実態把握を基にキャリア教育の実践を進めました。

【学校教育目標】

三刀屋小学校は 人やふるさとを大切にします～ふるさとを愛し ころ豊かで たくましい児童の育成～

【児童の実態】

- のびのびと生活している。
- 人懐っこく、人と関わることができる。
- 言われたことはできる。
- 素直で、明るく活動できる子が多い。

- △・・・・・・・・。
- △・・・・・・・・。

ふるさとへの誇りと将来への夢や希望をもち、すすんで社会貢献していこうとする心豊かでたくましい子どもを育てたい。
そのために、特別活動を要とし各教科等の特質を生かした授業づくりの方法について研究を進めよう。

アンケート+職員の日々の観察を合わせた丁寧な分析

上記の学校教育目標を踏まえ、丁寧な実態把握からキャリア教育を通して育成をめざす資質・能力を設定しました。これを職員だけが把握して終わるのではなく、具体的で子どもたちに伝わりやすい言葉で捉えなおし、示しました。





Point

- 子どもたちにとって振り返りにくい目標や合言葉は大人にとっても振り返りにくいものになる。
- イメージしやすい言葉で具体的にどのような行動をしたらいいのかわかる目標・合言葉の設定
- 子どもにもわかりやすく職員も子どもたちに声掛けがしやすい

「しっぽもひとやく」

雲南市三刀屋町にゆかりのある永井 隆博士が病床で描かれた色紙「しっぽもひとやく」をもとに三刀屋小学校で考えられた合言葉。

そして、子どもたちに育みたい力を具現化するために行うことを以下のように取組の焦点化を行いました。

子どもたちを中心とした意図的な指導計画	思考・表現する活動の工夫	振り返りの工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・自治的範囲内を明確にした学級活動（1） ・視点のある基礎資料を積み重ねる学級活動（3） ・創造性高い児童会活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びにつながる課題の設定 ・自分の思いや考えの明確化、自覚化 ・「考えるための技法」を活用した思考や対話 ・思考を支援する板書 ・過去の活動の想起、データ等資料の提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・次の学びにつながる振り返り ・自分の思いや考えの明確化、自覚化 ・共通の視点をもった振り返り ◎しっぽもひとやく（ブタチャート） 

右に示すように特別活動は、学級担任のみが担う活動ではありません。管理職を含む全職員が連携して指導に当たるものとされています。

全職員の共通理解と協力体制を構築するために

三刀屋小学校では、学校教育目標とそれにつながる育成をめざす子どもの姿を道しるべとして、協議や研修を積み重ね、実践を行いました。

<参考> 特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画の作成について

「特別活動の全体計画」とは、特別活動の目標を調和的かつ効果的に達成するために各学校が作成する、特別活動の全体の指導計画のことである。

このような特別活動の全体計画を作成する際には、教諭や養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員、司書教諭、学校図書館司書などの全教職員が連携して指導に当たるため、全教職員の共通理解と協力体制が確立されるようにしなければならない。

日々の活動をつなぎ合わせて

右に示す題材は、三刀屋小学校で実践した学級活動の実践の一部です。学級活動の題材の設定について、学習指導要領解説では、以下のように示しています。

<参考>学級活動の指導計画

各学校においては特別活動の全体計画や各活動及び学校行事の年間指導計画を作成すること。その際、**学校の創意工夫を生かし、学級や学校、地域の実態、児童の発達の段階などを考慮するとともに、第2に示す内容相互及び各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間などの指導との関連を図り、児童による自主的、実践的な活動が助長されるように**すること。また、家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫すること。

小学校学習指導要領解説 特別活動編（文部科学省）P63より作成者引用
※文字色、下線、太字は作成者が行ったもの

学級活動の実践（題材名）

- ・目指せ！クリーンマン
- ・虫歯にならないおやつを取り方
- ・がんばっているね
- ・～キャリア・パスポートとの出会い～
- ・ぼく・わたしにできること
- ・勉強って楽しいの？役に立つの？
- ・～4年生のめあてを決めよう～
- ・今年の水泳学習をみんなの力で
- ・自学の振り返り
- ・自分に役立つ『未来ノート』
- ・『うめっ子班開き』を前にして

児童が自ら発見した学級や学校での生活上の諸問題や児童の実態と学校として児童に育みたい力などを基に、バリエーションに富んだ題材を設定されています。児童の身近な課題や出来事を活かして、「解決するために話し合いたい」「よりよくするために話し合いたい」と感じさせるための工夫だといえます。

また、各教科と特別活動との関係性や「しっぽもひとやく」でまとめた児童に育みたい力を結びつけることで「どの場面で、どのような力を、どのように育むのか」について、キャリア教育年間計画にまとめました。

具体的な計画で可視化することは、学校全体の取組の方向性を明確にし、職員が同じ視点をもって教育活動を進めるために有効な取組です。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
教科	①サボテンの花・生きた【国】 ②図書館へ行こう【国】 ③わたしたちの生活と健康【国】 ④わたしたちの生活時間【国】	①イースター島に何故か森林がないのか【国】	①2階校をつぶさ【国】	①生き物のくらしと環境【国】 ②暑い夏を快適に【国】	①おもしろいこと・今【国】 ②おもしろいこと・国【国】 ③漢文に親しむ【国】 ④読書の幸福論【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】 ③おもしろいこと・国【国】 ④おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】 ③おもしろいこと・国【国】 ④おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】 ③おもしろいこと・国【国】 ④おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】 ③おもしろいこと・国【国】 ④おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】 ③おもしろいこと・国【国】 ④おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】 ③おもしろいこと・国【国】 ④おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】 ③おもしろいこと・国【国】 ④おもしろいこと・国【国】
道徳	①生き物のくらしと環境【国】 ②暑い夏を快適に【国】	①生き物のくらしと環境【国】 ②暑い夏を快適に【国】	①生き物のくらしと環境【国】 ②暑い夏を快適に【国】	①生き物のくらしと環境【国】 ②暑い夏を快適に【国】	①生き物のくらしと環境【国】 ②暑い夏を快適に【国】	①生き物のくらしと環境【国】 ②暑い夏を快適に【国】	①生き物のくらしと環境【国】 ②暑い夏を快適に【国】	①生き物のくらしと環境【国】 ②暑い夏を快適に【国】	①生き物のくらしと環境【国】 ②暑い夏を快適に【国】	①生き物のくらしと環境【国】 ②暑い夏を快適に【国】	①生き物のくらしと環境【国】 ②暑い夏を快適に【国】	①生き物のくらしと環境【国】 ②暑い夏を快適に【国】
総合的な学習の時間			①②③④ヒロシマ・ナガサキをして三刀屋永井隆博士の生き方を通して～【国】		①②③④うめっこ体育会を成功させよう【国】				①②③卒業プロジェクト【国】			
学校行事	①開校式 ②入学式	①学校遠足 ②学校運動会	①和道式 ②卒業式	①和道式 ②卒業式	①開校式 ②入学式	①開校式 ②入学式	①開校式 ②入学式	①開校式 ②入学式	①開校式 ②入学式	①開校式 ②入学式	①開校式 ②入学式	
学級活動	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】	①おもしろいこと・国【国】 ②おもしろいこと・国【国】	
児童会 クラブ	前期委員会選定	児童総会			代表委員会選定	後期委員会選定			児童総会			

6年生 キャリア教育年間計画 三刀屋小学校 研究収録資料より

5年生 学級活動(3)「花咲け！うめっこ委員会」

前期の委員会について振り返り、後期の委員会活動への目標を意思決定



「未来ノート」(キャリア・パスポート基礎資料の一つ)を用いた対話的な学びの充実、委員会活動における意思決定したことを実践する場を確保した事例です。



1年生 学級活動(2)「じょうずな てあらい」

ブラックライトを使用した可視化や養護教諭の専門性を活かした指導の実施



授業の様子を養護教諭が保健だよりに掲載し、全校及び家庭へ周知された事例。職員間連携の好事例です。

取組から見える子どもや職員の変化

子どもたちの変化

『先生、どうしたらいいですか?』が圧倒的に減った。

子どもたちが自分たちで気づき、考え、行動するなど自主的な学級に変わってきた。

学校行事の振り返りでは、自己の成長を自らフィードバックできるようになった。

「しっぽもひとやく」を基にめあてを設定し、振り返ることができるようになった。

職員の変化

自分たちで考えて決めて、実行するというプロセスを大事にする授業をしていきたいと思えるようになった。

特別活動の充実が、学校や学級の経営に大きく寄与することが分かった。

教科内容はもちろん、資質・能力も自然と身につかせていくような授業づくりをしないといけないように感じた。

課題

- ・すぐには効果が出ないので、じっくりと取り組む必要がある
- ・準備を簡単にすることが必要

「しっぽもひとやく」を合言葉に児童の皆さんと職員の皆さんが一致団結して取り組んだことが三刀屋小学校の大きな特徴です。そして、三刀屋小学校の職員の皆さんが、いつも「児童の様子で語る」姿が印象的でした。丁寧な児童の実態把握、「児童に伝えるにはどのようにしたらいいのか」、「児童に〇〇の力を育みたい」という願いや思いに基づいた日々の実践が上記のような変化を生み出したといえます。



三刀屋小学校の取組を活かして

三刀屋小学校の取組から

- 児童の実態を丁寧に把握する。
- 把握した実態からつきたい力を明確にする。そして、わかりやすい言葉で示す。
- 学校の活動をつなぎ合わせ、「合意形成」「意思決定」したことを実践する場を確保する。

ことが大切だとわかりました。

三刀屋小学校では、「しっぽもひとやく」の合言葉が今も活用されています。

この「しっぽもひとやく」をとおして示す育てたい子ども像は、児童の実態に応じて変化し、三刀屋小学校の合言葉として活用され続けていくと思います。

今回紹介した取組は三刀屋小学校の取組のほんの一部ですが、ぜひ参考にいただき、勤務先の子どもの実態把握を一番大切に、実践していきましょう。

